

施策評価シート(令和3年度実施施策)

総合計画 体系	政策№	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり	施策主管課	健康ふくし課
	施策№	3-1	施策名	保健体制の充実と医療の確保	施策主管 課長名	平山 正孝
関係課	健康ふくし課					

1. 施策の目的

対 象	A 地域	意 図	A 健康づくりの輪が広がっている
	B 町民		B 健康や病気予防の知識と意識が高まり、日頃から健康づくりに取り組んでいる

2. 成果指標

指標名		単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
A 保健体制の充実と医療の確保に関する満足度（増加）（現状値：H28-30平均）		%	78.6	81.5	81.9	82.2	82.5	82.7
				81.3				
B 特定健康診査受診率（増加）（現状値：H30時点）		%	51.2	58	59.2	60	61	62
				52.8				

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

健診結果による個別の保健指導や栄養指導、ハイリスク者に対する医療機関への受診指導や栄養指導及び健康教育として出前講座や健康相談を継続して実施したことにより、満足度の増加につながったと考える。
特定健康診査受診率向上のため、個別の受診勧奨及び広報紙やホームページ等による周知を行ったことと、感染防止対策を講じて受診しやすい環境を整備したことにより現状値より受診率は向上したものの、目標値に対しては、新型コロナウイルス感染症の影響により感染拡大前の状況までには至らず、目標を達成できなかったものと考ええる。

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・特定健康診査、がん検診の受診率向上及び生活習慣病の早期発見・早期治療を促すため、対象者の特性に応じた（AI分析による）健診広報を圧着ハガキにより送付し啓発と受診勧奨を行った。 ・令和2年度の健診結果をもとにハイリスク者を抽出し、令和3年度の特定健康診査（集団）を受診する際に微量アルブミン尿検査を追加実施した。

5. 次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

特定健康診査受診率向上のため、対象者の特性に応じた（AI分析）健診広報を圧着ハガキにより送付し、啓発と受診勧奨を継続して取り組む。同時に特定保健指導（重症化予防も含む）の更なる実施率の向上のため、地区担当保健師による個別保健指導及び栄養士による個別保健指導に取り組む。

6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和3年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4419	後期高齢者健診事業	9,807	評価対象外	評価対象外	評価対象外	○
2	4555	感染症対策事業	49,911	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
3	4789	健診等事業	55,333	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
4	5011	保健センター管理事業	4,040	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
5	5065	特定健康診査等事業	27,359	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
6	5663	人間ドック助成事業	8,899	現状維持	縮小	③効率性改善	
7	5716	国民健康保険事業	221,556	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
8	16561	新型コロナウイルスワクチン接種事業	280,838	現状維持	縮小	③効率性改善	
9	16715	後期高齢者医療保険事業	327,387	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
10	16731	国民年金事業	1,315	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
11	17169	健康づくり推進事業	137	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
12	17170	母子保健事業	17,725	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
13	17171	地域医療整備事業	49,653	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
14	17172	食育事業	110	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
15	17173	精神保健事業	158	現状維持	現状維持	⑤現状維持	